



ひきこもりの若者たちが

EM廃油石鹼 で未来との循環を作る

市民公益活動促進補助金 プレゼンテーション

NPO法人南大阪サポートネット

NPO法人南大阪サポートネットの歩み

- 2001年 南大阪サポートネット設立
- 2005年 3月28日、特定非営利活動法人を設立
- 2014年 ひきこもりの若者の自立支援を開始
- 2017年 ひきこもりの若者の居場所
- 『TO-VILLA（トビラ）』を開設
 - 家族の会、学びの場
 - お弁当作り、各種ワークショップ
 - 講演会やイベントを実施
 - 2021年度より 当事者会スタート

ひきこもりの若者を取り巻く社会の背景



内閣府調査

ひきこもり 131万人 (15歳～64歳)

若年無業者 63万人 (15歳から34歳)

要因 いじめ、発達障害、鬱、適応障害

貧困、DV、虐待、ヤングケアラーなど多様重複

一度社会のルールから外れると元に戻ることは大変困難

個人の問題ではなく 「社会の問題」

就労支援の現状



行政など公的機関や相談窓口

ほとんどは 就労 がゴール

課題

就労以外の選択肢がない

就労に向かうまでの前段階支援

居場所やスモールステップの

意義と必要性に理解が薄い

スモールステップの支援



ひきこもりからの回復

レジリエンス ⇒ 傷つきの回復

エネルギー充填 ⇒ 自信の回復

経験の積み上げ

次のステージに ⇒ 自分自身の人生へ歩む

自信の回復と様々な体験を重ねる機会を経て

人生の次のステージへ向かうため、寄り添い共に過ごす支援

EM廃油石鹸作りを通して大切にすること



当事者からの希望、自己選択・自己決定

役割を持って取り組むことによる自己有用感

様々な過程で地域の方と接する機会を持つ

自分たちの作業で収益を上げる体験をする

かかわってくれる方々への感謝の体験

作業を共にしながら自分に向き合ってみる

自分自身の次のステージをイメージする

自然環境 に関心を寄せる 命あるモノたちとの共生を考える

これらの大切さをEM廃油石鹸を通して地域住民への発信

取り組む事業 EM廃油石鹼作り



下記のスケジュールをルーティンとして繰り返す

○当事者との会議

○ボランティアと協働で

・試作 ・廃油収集 ・石鹼づくり ・広報販売

・協力者を増やす ・啓発発信

○検証、記録作成

EM廃油石鹼とは



EMとは

農地や水環境の改善に威力を発揮する光合成細菌や、発酵型の乳酸菌、酵母など、自然界にいる人にも環境にもやさしい善玉菌の集合体です

廃油石鹼

処理してしまう廃油を有効に活かします

SDGs への取り組み



- 6.6 2020年までに、山地、森林、湿地、河川、帯水層、湖沼を含む水に関連する生態系の保護・回復を行う。
- 6.B 水と衛生に関わる分野の管理向上における地域コミュニティの参加を支援・強化する。
- 8.6 2020年までに、就労、就学及び職業訓練のいずれも行っていない若者の割合を大幅に減らす。
- 12.5 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。

ご清聴ありがとうございました

これからもご理解、ご協力、ご支援よろしく申し上げます

おたがいさま

自分が困ったら

「助けてほしい」って伝える

自分にゆとりがある時は

「できることある？」って聴く



そんな社会が実現するといいですね

廃油の集め方



第一段階 当法人会員やボランティア、関係者に依頼

第二段階 地域の皆さんに協力依頼

協力団体

協働 スペースかなび ・ とびら（家族会）

協力 浜寺聖書協会⇒EM廃油石鹼づくり見学と指導の依頼

安全対策

製作者 安全な服装や装備・確認、点検、ボランティア保険加入

作業室 安全と換気の徹底

スタッフが必ず共同作業をする 頻繁な声掛け